

文部科学省後援 書写技能審査
平成〇年度第〇回毛筆書写技能検定 試験問題

実技問題

第1問・第2問・第4問の書き方

第1問 つぎの漢字四字を、楷書で別紙(半紙)に縦書きで書きなさい。

天地清新

第2問 つぎの漢字四字を、行書で別紙(半紙)に縦書きで書きなさい。

天地清新

第3問 つぎのわく内の文を、行書で別紙(半紙)を縦長にして三行に書きなさい。

(漢字は行書で書くこと。仮名は連綿で書いてもよい。)

夜明けの木々に降りた霜をみて
秋の深まりを感じた

第4問 つぎの文字は孔子廟堂碑の一部分です。これを別紙(半紙)を縦長にして臨書しなさい。



(欽明睿哲)

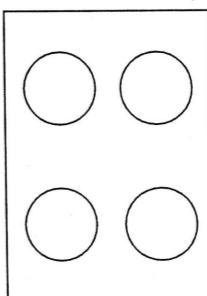
第5問 つぎのわく内の俳句を、別紙(半紙)を縦長にして二行または三行に体裁よく書きなさい。
(書体は自由。ただし漢字と仮名は課題のとおりに書くこと。)

ほろほろと山吹散るか滝の音

(芭蕉の句)

第6問 つぎのわく内の掲示文を、別紙(半紙)を縦長にして縦書きで体裁よく書きなさい。
(漢字は楷書、または楷書に近い行書で書いてもよい。)

切り絵教室
日時 六月十九日(日)
午後一時から四時まで
場所 市民会館多目的室
参加費 六〇〇円
主催 東洋市文化課



理論問題

〈理論問題の答えは、マークシートに記入すること。出題用紙も必ず提出すること。〉

第7問

つぎに示した楷書と行書の筆順のうち、正しいものには○を、よくないものには×を、マークしなさい。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
雅	独	考	飛	罪	齒	齋	確	率	專
牙利新雅	ノ多和独	十考考	飞飞飛飛飛	四罪罪罪	一ト止止止	上文武齋齋	石砂砂砂	上六法法	一白由由

第8問

つぎの草書で書かれた漢字を常用漢字の字体(楷書)にしたものはどれか、下の①～④の中から選びなさい。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
楽	孤	出	化	邪	速	文	不	美	若
器	獨	友	用	念	達	藝	性	学	手
① 楽器	① 燈燭	① 悪友	① 利用	① 都合	① 速達	① 久約	① 女性	① 芸学	① 若手
② 東宮	② 紅顔	② 出発	② 作用	② 疑念	② 迅速	② 万葉	② 品性	② 美草	② 落手
③ 東雲	③ 終始	③ 共友	③ 半月	③ 邪念	③ 速度	③ 共著	③ 知性	③ 芸習	③ 若年
④ 肉食	④ 孤独	④ 学友	④ 斬月	④ 都会	④ 発達	④ 文芸	④ 無性	④ 美学	④ 美年

第9問

つぎの平仮名のもとに漢字を、下の①～④の中から選びなさい。

5	4	3	2	1
の	ね	ぬ	に	な
① 野	① 根	① 奴	① 二	① 菜
② 之	② 柀	② 抜	② 児	② 无
③ 乃	③ 子	③ 怒	③ 仁	③ 名
④ 能	④ 音	④ 貫	④ 尔	④ 奈

第9問

つぎの漢字の部分(へん・や・つくりなど)の名称を、下の①～④の中から選びなさい。

5	4	3	2	1
口	起	川	石	扣
① ろへん	① そうによう	① かたなへん	① おかんむり	① にんべん
② くちへん	② えんによう	② れつへん	② ほこへん	② しょうへん
③ ふきへん	③ けんによう	③ りづくり	③ おがまえ	③ てへん
④ ひへん	④ きによう	④ りつとう	④ しかばね	④ きへん

第10問

つぎの20字の漢字について、常用漢字の字体からみて正しいものには○を、間違っているものには×を、マークしなさい。

5	4	3	2	1
明	確	地	在	命
10	9	8	7	6
对	星	野	唯	認
15	14	13	12	11
球	研	惑	的	様
20	19	18	17	16
然	科	究	学	象